

2月18日
本部会議室
出席委員等13人

懐かしの名機や新台展示

4・25、26フェスタの内容固まる

4月25日(金)、26日(土)、東京・

ベルサール秋葉原で開催する「パチンコ&パチスロフェスタ2014」4〜みんな遊ぼうよ!!楽しいばちんこ!!」のアウトラインを確認した。さらに、1日ずれて26日(土)、27日(日)、千葉・幕張メッセで開催される「ニコニコ超会議3」にフェスタのサテライトブースを設け、WEB中継でベルサール秋葉原の会場と結びながら、新台の展示・試打を行うことも決定している。

業界ぐるみのイベント

フェスタは日遊協が主催し、日遊協とともにパチンコ・パチスロ産業21世紀会を構成する13団体(全日遊連、日工組、日電協、全商協、回胴遊商、自工会、補給組合、メダル工業会、同友会、余暇進、PCSA、PSA、認証協)、パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会加盟の6社が後援、遊技機出展メーカーなど多数の企業、団体が協賛する。

遊技機アワードの表彰式

フェスタは、パチンコ・パチスロの面白さを広く内外へPRするため、参加性のある企画をそろえる。ベルサール秋葉原のメイン会場は午前10時から午後5時までで、入場無料。25日は業界関係者向けで、パチンコ・パチスロの新台や懐かしの名機の展示と試打、セミナー・講演、「パチンコ&パチスロ遊技機アワード2014」の表彰式、パチンコ・パチスロ機器展などが催される。26日は一般ファン・初心者・スリープ層向けで、パチンコ・パチスロの新台や懐かしの名機の展示と試打、ゆるキャラなどのステージイベント、来場者へのグッズのプレゼントが予定されている。さらに、全日遊連、日遊協、日工組が現行遊技機検討会を設置し、ホールと遊技機メーカーが協力する形で、シンプルでわかりやすく、安く長く遊べる新たな遊技機の開発を進めており、一部はフェスタの展示に反映される。

フェスタの内容を話し合った遊技機委員会



されている。

「ニコニコ超3」とWEB中継

この中で展示と試打に登場する遊技機は、現行機・遊べる遊技機としてパチンコ43台、パチスロ40台、懐かしの名機としてパチンコ16台、パチスロ12台、雀球2台が予定されている。

一方、「ニコニコ超会議3」(入場は有料)では、企業エリアにサテライトブースを設置し、試打用としてパチンコ・パチスロの新台展示を行うほか、イベントとしてメイン会場とのWEB中継(26日)等が予定されている。新台展示のブース入口に18歳未満は入場できない旨の掲示をし、声かけ・確認の担当者を置くことを予定している。

入場無料

パチンコ&パチスロ

フェスタ2014

PACHINKO & PACHISLO FESTA 2014

4/25 (金)

AM 10:00

PM 5:00

■パチンコ&パチスロ機器展
■特別セミナー
■遊技機アワード2014

4/26 (土)

AM 10:00

PM 4:30

■ステージイベント

遊技機展示&試打

| | | | |
|------|-----|------|-----|
| パチンコ | 43台 | パチスロ | 40台 |
| パチンコ | 16台 | パチスロ | 12台 |
| | | 雀球 | 2台 |

会場

ベルサール秋葉原 (旧秋葉原電気街口徒歩4分)
東京都千代田区外神田3-12-8住友不動産秋葉原ビルB1・1F・2F

サテライトブース

※18歳未満の人は入場できません。※手動でプログラムが変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催 (社)日本遊技機産業協会

フェスタの目的の一つは、遊技産業活性化プロジェクトの柱の1本、ファン層の拡大で、この趣旨に沿って去る1月28日、パチンコ・パチスロ産業21世紀会が「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」をスローガンに「宣言2014」を発表し、業界ぐるみ

フェスタの目的の一つは、遊技産業活性化プロジェクトの柱の1本、ファン層の拡大で、この趣旨に沿って去る1月28日、パチンコ・パチスロ産業21世紀会が「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」をスローガンに「宣言2014」を発表し、業界ぐるみ

フェスタの目的の一つは、遊技産業活性化プロジェクトの柱の1本、ファン層の拡大で、この趣旨に沿って去る1月28日、パチンコ・パチスロ産業21世紀会が「気軽に遊んでもらおう!パチンコ・パチスロ」をスローガンに「宣言2014」を発表し、業界ぐるみ

第10回人材育成フォーラム

就活解禁時期変更への対策

マイナビ・栗田卓也氏が講演

第10回人材育成フォーラム(人材育成委員会主催)が2月14日、日遊協本部会議室で開かれた。都心が大雪に見舞われた中、会員企業の人事担当者(中堅層)として、女性2人を含む15人(13社)が参加した。

今回のメインテーマは「平成26年度の就活解禁時期の繰り下げとその対策」。岸野誠人担当理事の挨拶に続いて、(株)マイナビ就職情報事業本部HRRリサーチセンター長、栗田卓也氏がテーマに沿って講演した。

栗田氏は、2015年卒採用の序盤戦について、学生が「その会社に興味あり」と意思表示するエントリー件数は前年を上回り、とくに理系男子のエントリー数が上昇しているが、個別企業説明会への参加率は低下気味なこと、とくにアミューズメント・レジャー業界についてはエントリーしてから企業説明会参加までの割合が54%と、全体平均(74%)を下回っていることなどの現状を報告した。さ

らに、学生を企業説明会に誘導するポイントとして、学生の利用が急増しているスマートフォンへの対応策の必要性を強調した。

辞退率の読み難しく

16年卒採用について、企業説明会は3月にスタートする企業が4割、ピークは4、5月と予測した。採用開始時期変更で想定される課題として、①理系学生の卒業研究期間にあたり、学業を阻害するこ



栗田氏(奥)の講演を聞く参加者たち

とで理系学生の採用が混乱 ②公務員試験が5月実施なので、官公庁とのバッティングが増加 ③8月からの選考開始で特定の学生に内定が集中し、辞退率の読みが困難に ④業界理解、企業理解がさらに浅くなる恐れ——などを挙げた。講演の後、参加者は4班に分かれ、テーマに沿ってディスカッションと意見発表を行った。

人材育成フォーラムは、日遊協会員企業の人事担当者を対象に、人材育成に関する課題や悩み、人材育成プランに役立つ情報等を共有するとともに、人事担当者同士の人脈を業界横断的に広げること

人材育成委員会

2月14日
本部会議室
出席委員等9人

来期へ「改革案」を討議

来期の事業計画を審議した。来期は年間3回の人材育成フォーラム、第8回遊技産業マネジメント・カレッジ、ぱちんこ産業合同説明会、店長・管理職能力開発講習が予定されている。このうちマネジメント・カレッジの内容刷新、

人材育成フォーラムの九州地区等への持ち出し開催などが検討されたが、結論は持ち越された。

社会貢献・環境対策委員会

2月14日
富國物産(株)会議室
出席委員等9人

認知症予防に協力検討

2014年度の事業計画を審議した。スロット遊技機には認知症の予防効果や進行を遅らせる効果が実証されているが、おもにスロット遊技機を使った認知症予防プログラムとして、介護施設向け機械を筑波大学との産学共同研究で開発する提案があり、協力する方向で検討することになった。

東日本大震災で被災した仙台北空港東側の仙台湾沿岸地区海岸防災林(宮城県名取市台林国有林)再生のための「日遊協 仙台共生の森」第2弾となる植林日程を協議し、5月16日(金)に行う方向で準備を進めることになった。今回は0・2ヘクタールにクロマツを植林する。

ソーラーシステム、風洞発電など自然エネルギーに関する研究、分煙環境に関する研究を継続して進めることを確認した。

産業界一堂に懇親深める

庄司会長、篠原専務が講演

東北支部（谷口久徳支部長）は2月13日、仙台市のパレスへいあんで「新春の集い・実務セミナー」を開いた。

会員ら68人が出席した実務セミナーでは、庄司孝輝会長が「遊技産業活性化プロジェクトについて」と題して講演し、社会と遊技産業の現状を踏まえながら「厳しい経営環境の中で、お客様がいじめられている。メー

カーとホールが一緒になって、お客様のために羽根物などバラエティに富んだ遊技機を作り、お客様が楽しめる空間を創造する必要がある。気軽に遊んでもらおうパチンコ・パチスロ、を推進するために

新年賀詞交歓会で発表された「21世紀会共同宣言」は戦略的なプロジェクト3か年計画のスタートである。これを通じて業界が一体となって、お客様のためになるように一つ一つ活動していくのが大切だ。2017年にV字回復し、さらに

挨拶に立ち「ライ麦は細くて、風に吹かれればすぐにも倒れそうですが、その根っこは延々と長く続いているそうです。業界もライ麦のようにしっかりと根を張り、未来のために間違いのない政策を進めていきたい」と述べた。宮城県遊協竹田隆理事長の挨拶のあと、山形県遊協井上静夫理事長の音頭で乾杯し、鏡割やくじ引きなども行われて賑やかに懇親を深めた。

広報調査委員会

2月13日
本部会議室
出席委員等10人

データ調査の構想提起

産業界全体の項目を網羅

来期の事業の一つとして、産業規模データ調査の構想が提示された。従来、遊技産業に関連するデータは関係団体、調査企業、行政等で各種の発表が行われている。例えば、売上規模や参加人口ではアンケート調査から推計する日本生産性本部の「レジャー白書」、ダイコク電機(株)が自社ホールコン売上から推計するDKI-SIS白書、ホール数では警察庁の「風営白書」、全日遊連の組合加盟店舗実態調査、ホール就業者数ではア

ンケート調査から推計する総務省統計局の「経済センサス基礎調査」、PCSAが会員企業のアンケートから推計するデータベースなどがある。

今回の構想では、売上規模、粗利規模、参加人口、ホール数、ホール及び関連企業の就業者数、ホール企業基本納税額、遊技機出荷台数、設備機器市場規模、遊技機部品市場規模など産業に係る基礎データを網羅してまとめる。データはメディア等で社会的に公開し、ファン拡大のための活動や、各企業で利用して業務効率向上に役立てる。さらに荒唐無稽な数字を使った業界バッシングに対応させる。

事業化が決定した場合、データ作成は(株)エンタテインメントビジネス総研が中心となる予定で、そうした中で広報調査委員会として担う役割を検討していくことになった。2月末の締め切りを控えて、第4回パチンコ・パチスロエッセー・絵手紙コンクールの応募状況が報告された。前回は最終的にエッセー457点、絵手紙332点の応募があったが、今回の応募数は2月13日現在、エッセー、絵手紙ともやや低調となっている。



「新春の集い」であいさつする谷口支部長（円内は左から篠原専務、庄司会長）

新春の集いには、会員、東北の各県遊協理事長、東北遊協理事長をはじめ各方面からのお客様を含め71人が出席した。谷口支部長が

「風営法における諸問題について」と題し、消費税、カジノ関連、ECO遊技機、点検補助員制度などの諸問題に関し具体的な指摘を展開し、聴衆の関心を集めた。